

総務委員会請願説明資料

令和5年8月16日

件名	頁
1 受理番号18 日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める請願・・・・・・・・・・・・・・・・	2

(総務部)

件名	受理番号 18 日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める請願
所管部課名	総務部 総務課
請願の要旨	日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める。
請願者等	請願文書表のとおり
紹介議員名	はたの昭彦議員、おぐら修平議員、土屋のりこ議員、高橋まゆみ議員
内容及び経過	<p>1 主な経緯</p> <p>(1) 核兵器禁止条約について 平成29年7月、国連本部においてオーストリアやメキシコなど核兵器非保有国が主導し、賛成122（反対1、棄権1）で採択された。同条約は、核兵器の開発・保有・使用などを全面的に禁止している。核兵器保有国やNATO諸国の大部分は、核抑止を前提とした安全保障体制への影響を理由として、同条約には参加していない。日本も、核保有国が不参加であることによる同条約の実効性を理由として、参加を見合わせた。令和2年10月24日に、批准した国が発効要件である50か国に達し、令和3年1月22日に発効した。なお、令和5年7月1日時点で批准したのは68カ国・地域である。</p> <p>(2) 核廃絶決議について 日本は平成6年から毎年、各国が連帯して核なき世界を目指すことを訴える独自の核兵器廃絶決議案を国連本部に提出している。令和4年12月に行われた採決では、賛成147（反対6、棄権27）で採択された。</p> <p>(3) 「核兵器廃絶国際キャンペーン」ノーベル平和賞受賞について 平成29年12月、国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」がノーベル平和賞を受賞した。これを受け、同月11日の記者会見で当時菅義偉官房長官は、「核軍縮・不拡散に向けた認識や機運が高まることは喜ばしい」と歓迎する一方、「核兵器保有国を巻き込む形で、現実的で実践的な核軍縮の取り組みを進める必要がある」と述べ、核兵器禁止条約に署名、批准しない方針を改めて表明した。</p> <p>(4) 核兵器禁止条約 締約国会議について 令和4年6月に、核兵器禁止条約の締約国会議がオーストリアにて初めて開催され、「核なき世界」の実現を目指す「ウィーン宣言」と、核廃絶に向けた具体的な取り組みをまとめた「ウィーン行動計画」が採択された。これには、「締約国を増やすための取組」や「被爆者への支援や救済を進めること」、「核兵器拡散防止条約（NPT）は核軍縮と不</p>

拡散の基礎であり、核兵器禁止条約とは相互に補完する関係にある」などが盛り込まれた。会議参加国としては、条約批准国に加え、条約に参加していないNATOの複数の加盟国もオブザーバーとして出席した。日本からは、広島市長や長崎市長などが出席したが、日本政府はオブザーバー参加しなかった。

(5) 核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議について

5年に一度、191カ国・地域が参加する会議。核軍縮や核不拡散などの締約国の取り組みを検証し、今後採るべき施策を議論する。令和4年8月に国連本部で開催された10回目の会議には、岸田首相が日本の総理大臣として初めて出席した。岸田首相は演説中、「各国と共にNPTの守護者としてNPTをしっかりと守り抜く」との決意表明や、「核兵器不使用の継続の重要性の共有や、透明性の向上など5つの行動を基礎とする「ヒロシマ・アクション・プラン」に取り組んでいくべきことを訴えた。最終的にはウクライナをめぐる問題を理由にロシアが反対し、成果文書のコンセンサス採択には至らなかった。

(6) G7広島サミットについて

令和5年5月に日本が議長国として被爆地・広島で開催。ウクライナ情勢や核軍縮等が大きなテーマとなった。G7や招待国の首脳らが原爆資料館を訪れ被爆の実相に触れる機会ももたれた。核軍縮・不拡散について岸田首相は、「NPTの維持・強化を図ることこそが核兵器のない世界を実現する唯一の現実的な道である」と発言し、セッション後、核軍縮に焦点を当てたG7初の首脳独立文書「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」を発出した。最終日にはウクライナのゼレンスキー大統領も参加し、ロシアの侵略に立ち向かう覚悟の表明や、和平に関する考えなどの説明があった。

2 平和首長会議の取り組みについて

同会議は、従来から核兵器禁止条約の締結に向けた交渉を即時に開始するよう世界各国へ要請しており、同条約の採択を契機に、核保有国を含めたすべての国が速やかに署名、批准するよう働きかけている。

令和5年7月1日現在、166カ国・地域（8,265都市）が加盟しており、うち国内では、1,738都市が加盟している。

※ 足立区は平成22年7月1日に加盟